

平成21年度島根県普通会計決算及び 健全化判断比率等の概要

1. 普通会計決算

(1) 総括

歳入については、景気低迷等により県税が大幅に減少したものの、経済対策に伴う国庫支出金、基金繰入金、諸収入等の増により増加した。また歳出については、給与改定等により人件費は減少したが、経済対策の実施により普通建設事業費、貸付金等が増となり増加した。

この結果、平成13年度以来8年ぶりに歳入・歳出総額が増加した。

(単位：百万円)

区 分	平成21年度	平成20年度	増減額	増減率
歳入総額 ①	586,509	516,831	69,678	13.5%
歳出総額 ②	575,066	507,095	67,971	13.4%
形式収支 ③=①-②	11,443	9,736		
翌年度繰越財源 ④	8,074	7,055		
実質収支 ⑤=③-④	3,369	2,681		

億円

【普通会計決算額の推移】

